

安保法制は廃止！ 野党連合政権めざす 新しい年に！



昨年は参院選の1人区において、野党+市民連合が11選挙区で勝利をしました。また新潟県知事選挙でも原発再稼働に反対する県知事が誕生しました。今度は国政の番です。安保法制（戦争法）を廃止し、国民の命と暮らしを守る政権を誕生させましょう。私もがんばります。



1年ぶりに市議会に復帰。



雪が降っても雨が降っても戦争法廃止。



激戦を制し、森ゆうこさんが勝利。

高田で観測史上最高の降雨記録、被害。



数え年100歳の伯母が逝く。



写真でみる私の2016年

この1年間の私の活動を写真で振り返りました。



【オオイヌノフグリ】オオバコ科の越年草。漢字で「大犬の陰囊」と書きます。農道などで咲いています。イヌノフグリの果実は雄犬の陰囊に似ていますが、オオイヌノフグリの実は似ていません。かわいそうです。



県知事選で米山隆一さん勝利。



糸魚川市で大火。現地へ

はしづめ法一の
活動レポート

No.1789 2017.1.1
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一 検索

ふるさとの味というものはちよつとしたことでは思いだすことがあるようです。大湯区に住むKさんの場合もそうでした。昨年の秋、福島県会津市出身で、近所に住む人から高菜という野菜をもらったことで、Kさんの記憶装置にスイッチが入りました。

高菜はアブラナ科の越年草で、丈は五〇から六〇センチほどになります。葉や茎は柔らかく辛味があつて、野沢菜と同じように漬け菜として活用されます。もらった高菜を見たKさんはすぐ、生まれ育った山形の地でお母さんが作ってくれた「おみ漬け」を思い出したのでした。

「おみ漬け」は山形県の内陸部特産の冬の保存食です。青菜（せいさい）を中心に、大根、ニンジン、シソの実などを樽に入れて、塩や醤油などで漬けます。Kさんの家では、毎日のようにご飯のおかずとして食べたそうです。そして、時間が経つてすつたくなつてきたときには、炒めて食べるか、おにぎりに巻く海苔がわりとして葉っぱを活用したとのことです。

Kさんの話を聞いてすごいと思つたのは、「おみ漬け」を思い出しただけでなく、高菜を使って「おみ漬け」を作ろうと思つたというところでした。

Kさんが山形にいた頃、「おみ漬け」を作ってくれたお母さんは二年ほど前に亡くなつていきますので、お母さんにじかに訊くことはできません。インターネットで調べながら漬物に入れる野菜などの種類や塩などの量の確認をしたといいます。

でも、インターネットで出てくるものはお母さんが作つた「おみ漬け」のデータがそのまま出てくるわけではありません。Kさんの記憶と微妙な違いがあつたとのことでした。例えば漬物の中に入れる品物です。Kさんの記憶では青菜、大根、ニンジン、シソの実までは同じでした。でも、その他にスルメや数の子も入つていたのでした。

ないか、そんなことが思い浮かんできたというのです。最終的にはスルメも数の子も入れました。野菜を切る時の形にもこだわりました。細かく切るか、イチヨウ切りにするかなど考えて切つたといいます。

こうして、お母さんが昔作つたもののできるだけ近づける努力をして「おみ漬け」が出来上がりました。Kさんは高菜をくれた人にそれを「お返し」としてプレゼントしました。Kさんの手づくり「おみ漬け」を食べたその人は、「美味しい」と大喜びされたそうです。

ほめてもらったことでKさんは今年、新しい挑戦をはじめました。大根などの通常の野菜の他、なんと、「おみ漬け」に使う山形青菜（やまがたせいさい）を自分の家の裏にある畑で作つたのです。お母さんの「おみ漬け」にさらに近づけたいというのがKさんの思いでした。

畑では、五ヶほどの長さの畝（うね）を三列作り、そこに山形青菜の種をまきました。Kさんは、「まあ、ちよつと種まくのが遅かつたけど普通に育つてくれた」と喜んでいました。収穫期を迎えた山形青菜は、野沢菜に似ているけれども茎は丸くなく、平べつたのだそうです。しかもパリパリして折れやすいとか。Kさんは一日ほど干してから洗つたといいます。

先日、私はKさんから今年漬けた「おみ漬け」をいただきました。透明の丸いタッパ（容器）に入つていた青菜、大根などは上手に詰めてあつて、人参の色が鮮やかでした。野菜とスルメや数の子もとても合います。食べたとたん、「うまい！」と叫びたくなりました。

私が美味しそうに食べているのを見て、Kさんはずっと笑顔でした。これまで漬物は、山形の丸ナスを使った粕漬けの経験もあるとのこと。おみ漬けの次はどんなものに挑戦するのでしょうか。

「市民のいのちと健康を守ることを最優先にする市政を」と要望

日本共産党上越地区委員会（上野公悦委員長）と日本共産党上越市議団は26日、村山秀幸市長あての「新年度予算と市政運営に関する要望書」を提出しました。提出については日本共産党市議団の4人が担当

し、上野委員長が岩野総務管理部長に手渡しました。

今回の要望書では、市政運営の基本として、①安全保障関連法強行、原発再稼働、消費税増税など、国民の声を無視した安倍政権の暴走に対してノーの意思表示と行動をとる、②柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を許さず、市民の安全を守る立場で原発のない日本をめざす、③「安心と安全のまち」へ、市民のいのちと健康を守ることを最優先にする、④中小企業振興基本条例・公契約条例など、産業振興政策を抜本的に強め、正規雇用の拡大と雇用環境の整備を図り、地域循環型の経済を実現する、⑤市民の声を反映させた持続可能な公共交通、⑥大型施設の建設などの公共事業を大幅に見直し、市民生活に直結する事業への予算配分、を求めました。

提出にあたって、私から、「市政運営の記述もあることか



ら、今回の要望書のタイトルをこれまでと変えた。要望はこれまで市民の皆さんから寄せられたものを中心にまとめたもの。私たちが推した人が知事になったことなどを意識して書いた」と説明しました。

上野議員は今回は原発再稼働反対を掲げた米山氏が知事になったことを踏まえ、原発再稼働への姿勢をはっきりさせてほしいこと、避難計画の見直しを本格化させることを求めました。また、橋本正幸議員は三和区宮崎新田地区の産廃処理の確実な実行を迫りました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月21日(水)	12月27日(火)
上越南消防署	0.043	0.050
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.043	0.057
頸南消防署	0.057	0.060
東頸消防署	0.040	0.050
高士分遣所	0.050	0.060
名立分遣所	0.053	0.050